

令和7年度都立竹早高校における教科指導の重点

重点科目	重点課題	取組	発展的取組
国語	・「話すこと／聞くこと」「対話的で、深い学び」の指導の充実 ・「書くこと」の指導の充実	・対話的な学びの中で、基礎事項の定着、深い学びを目指す授業の実践 ・要約や理由説明等、文章にまとめる活動を重視した授業の実践	・論理的な読解力を鍛える一方で、文学的なものの見方を養い、さまざまな文章を通じて世界を広い視野で深く捉える活動の実践
地歴公民	・歴史的事象や社会事象に対して興味・関心を深める学習活動の充実	・地理歴史科および公民科の諸問題について考察する態度を養うための教材開発 ・大学入学共通テストの問題分析	・発表活動などを通して歴史的事象や社会事象に対する考察の実践
数学	・自らの考えを数学的な表現を用いて簡潔・明瞭・的確に表現する力の育成	・問題解決の過程において、論理的に考え判断し、それを簡潔・明瞭・的確に表現する活動を重視した教材の開発や授業実践	・論理的に考え表現した内容について、自ら問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価、改善したりしようとする活動の実施
理科	・「探究の過程」を踏まえた学習活動の充実	・事象を科学的に捉え、問題解決を見いだせる教材の開発 ・問題解決の過程において、科学的に考察する活動を重視した授業を実施	・大学、企業などの研究機関と連携して、探究的な学習を深めるとともに、授業外のフィールドワークやワークショップを実施する
体育	・「基礎体力」の強化 ・自ら運動をする場面の充実	・毎時間に補強運動を取り入れることで、個々の基礎体力の強化を図っていく	・グループ学習を通じて、一人ひとりが生涯に渡って運動する習慣を養っていく
芸術	・表現活動の充実と、生活や社会との関連の深化	・自己のイメージを明確にもち、表現を創意工夫できる教材の開発 ・協働活動を重視した授業の実施	・相互発表を通して、思いや意図・意見を伝え、互いの視点や考えの違いを認めることで表現を高め合う力の育成 ・コンクール、コンテスト等への任意参加、出品
英語	・生徒の英語による発信力を高めるため、実践的な「話すこと」の指導を強化する。日常的な英会話活動やプレゼンテーションの機会を増やし、英語での表現力とコミュニケーション能力の向上を図る。	・オンライン英会話事業の有効活用：ネイティブスピーカーとの定期的な会話練習を通じて、実践的な英語力を養成する。 ・Tokyo GLOBAL Student Navi TGG(Tokyo Global Gateway)のプログラムの有効活用：英語を使用する模擬体験を通じて、異文化理解と実践的な英語運用能力を育成する。	・「話すこと」につながる作文能力を養うとともに、思考力、判断力、論理性を鍛える。具体的には、話し合いやエッセイライティングを通じて、自分の意見を論理的に構築し、他者に伝える力を育成する。また、ICTを活用した学習活動を取り入れ、情報の収集・整理・発信能力の向上を図る。
情報	・情報活用能力の指導の充実	・情報技術の技術力向上のためのoffice実習 思考力向上のための演習・課題	・情報を関連づけることができる力を養い、様々な情報技術を使いながら、問題解決を図ることができる能力を鍛える
家庭	・ホームプロジェクトおよび学校家庭クラブ活動の指導充実	・基礎的な知識、技能の習得 ・それらを活用した思考力、判断力、表現力の育成 ・主体的な問題解決学習の充実	生徒それぞれが以下を実施する ・生活内の課題発見 ・解決方法の検討と計画 ・課題解決に向けた実践活動 ・実践活動の評価・改善